

Table with columns for pesticide types (殺菌剤) and target organisms (天敵等). Rows include various chemical names like アミスター, アフェット, アリエッチェイ, etc. Columns represent different life stages and effects (残, 成, 幼, etc.).

注)卵：卵に、幼：幼虫に、成：成虫に、マ：マミに、蛹：蛹に、胞子：胞子に、巢：巣箱の蜂のコロニーに対する影響
残：その農薬が天敵に対して影響のなくなるまでの期間で単位は日数です。数字の横に|があるものはその日数以上の影響がある農薬です。
\*は薬液乾燥後に天敵を導入する場合には影響がないが、天敵が存在する場合には影響がでる恐れがあります。
記号：天敵等に対する影響は◎：死亡率0～25%、○：25～50%、△：50～75%、×：75～100%(野外・半野外試験)、◎：死亡率0～30%、○：30～80%、△：80～99%、×：99～100%(室内試験)
マルハナバチに対する影響は◎：影響なし、○：影響1日、△：影響2日、×：影響3日以上
マルハナバチに対して影響がある農薬については、その期間以上巣箱を施設の外に出す必要があります。影響がない農薬でも、散布にあたっては蜂を巣箱に回収し、薬液が乾いてから活動させて下さい。